

セミナー(自主学習講座)の勉強方法

4月初めに実施した第1回診断テストの結果を先週(金)に返却しました。思いのほか点数が伸びていなくて、がっかりしたことでしょう。この反省を次に生かさなければなりません。

そろそろセミナーは第4講座に進みます。今更ですが… 問題シートから解き始めていますか？ それとも、初めに解説シートを読んでから問題シートに取り掛かっていますか？ 得意不得意によって、やり方が違うかもしれません。苦手なところは、解説シートを読んでから問題シートを解くのもよいでしょう。

基本的には

- ① 自分が“どこが出来てどこがわからないのか”ははっきりさせるために、問題シートから解く
- ② わからないところは、必ず丁寧に解説シートを読む
- ③ もう一度解説シートから離れ、自力で解く努力をする
- ④ 解説シートを見なければ解けなかった問題には、☆等の印をつけておく
後日再度解く時に時短が出来ます。
- ⑤ 解説シートを使わず問題シートが解けたとしても、解説シートを読み解く
- ⑥ 解説シートを見ながらでも解けなかった問題は、解答シートの解き方を含め、丁寧に赤字で模範解答を写しましょう。
- ⑦ 間違い直しノートにその問題を写し、間違ったポイントをまとめたり、解き直しをする
特に、④⑥⑦をしておく、テスト直前にとても役立ちます。次回第2回診断テストには間に合わせるよう、是非今日からでもやることを当たり前にしてください。

更にですが、

- ・理科・社会の解説シート欄外にある簡単な『記述問題 Q』を解いていますか？
- ・全教科の解答シートにある『チェック&チェック』を解いていますか？
書けなかった漢字や英単語英文は、当然書いて書いて書きまくって覚えます。

つまり、解説シートを使わずに問題が解けたとしても、必ず解説シートも解答シートも隅々まで使って学習を深めてほしいのです。

更に更に・・・

効率よく学習するためには

- ・『5教科のまとめ』と赤色の下敷きを使って、暗記のチェックをする
- 家庭学習ノートにまとめる時に、ポイントとなる重要語句や単語は赤ボールペンで書く。
暗記確認時は、赤下敷きを使う
- 重要語句の説明文は、緑ペンで書き、確認するときには緑下敷きを使う
- 前回までの診断テストをもう一度解き直す
- 解答シートを丸写しした問題は、テストまでに少なくとも3回は解く
- 1・2年次の中間テストや期末テストを類似問題として解く(もちろん、答え合わせも！)

第1回診断テスト返却・・・ 学力未定着緊急事態！！

テストは後始末が肝心！

テストでは、3年間で学習する内容の定着度を確認しています。必ず、間違い直しノートでつまずきを確認し、その後再テストで解き直して、出来るようになったかどうか確認しましょう。

これ以外にも、様々な学習方法があります。まずは、この基本的な方法をマスターすることです。その上で、色々試していき、自分に一番合った方法を見つけてください。時間は限られています。

DO YOUR BEST!!